

大縮尺の白地図の作り方

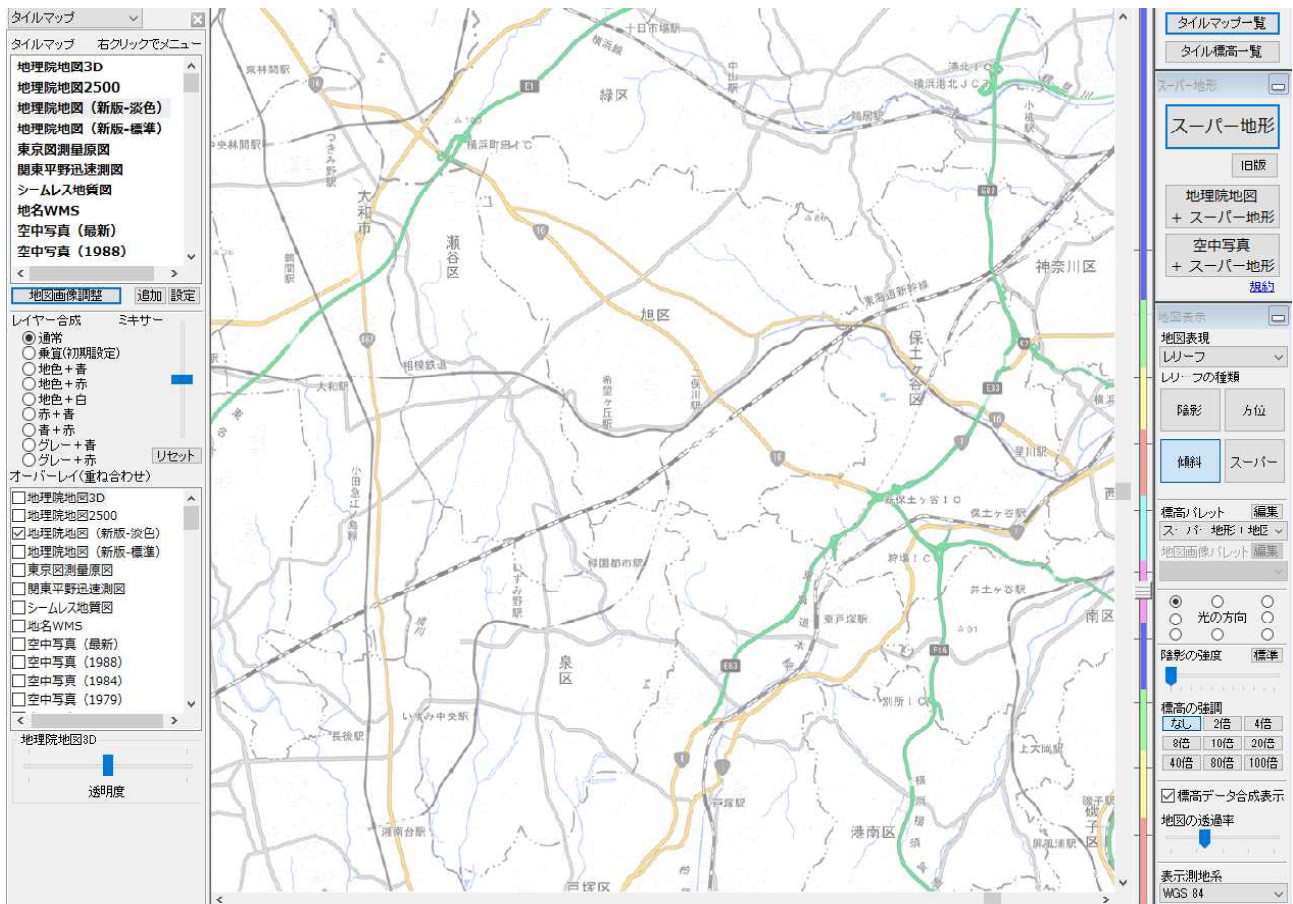
2018年9月 田代博



フィールドワークやその整理の際に苦労するのが白地図の用意です。国土地理院は「教育現場で活用する白地図」というサイト (<http://www.gsi.go.jp/CHIRIKYOUIKU/hakuchizu.html>) で、調べ学習や地域学習に使える白地図の作り方を説明しています。

ここでは、フリーソフトの「カシミール3D」を使って簡単に白地図が作れる方法を紹介します。

1. タイルマップ一覧から「地理院地図（新版－淡色）」を選びます。



2. 右側の「フリーズームバー」で縮尺を変更します（大きな縮尺の地図にします）。

左側の「地図画像調整」をクリックすると、地図の真ん中に「明るさ・コントラスト調整」の窓が開きます。そこで「グレースケール」にチェックをいれます。そうすると、より白地図らしい画像になります。



3. 表示されている範囲でよければ、「ファイル」－「表示画像を保存」－「表示領域を保存」でこの範囲の画像が保存されます。あとは画像ソフトでそれを印刷すればできあがりです。「明るさ・コントラスト調整」の窓が表示されていますが、仕上がりのイメージはおわかりいただけるでしょう。

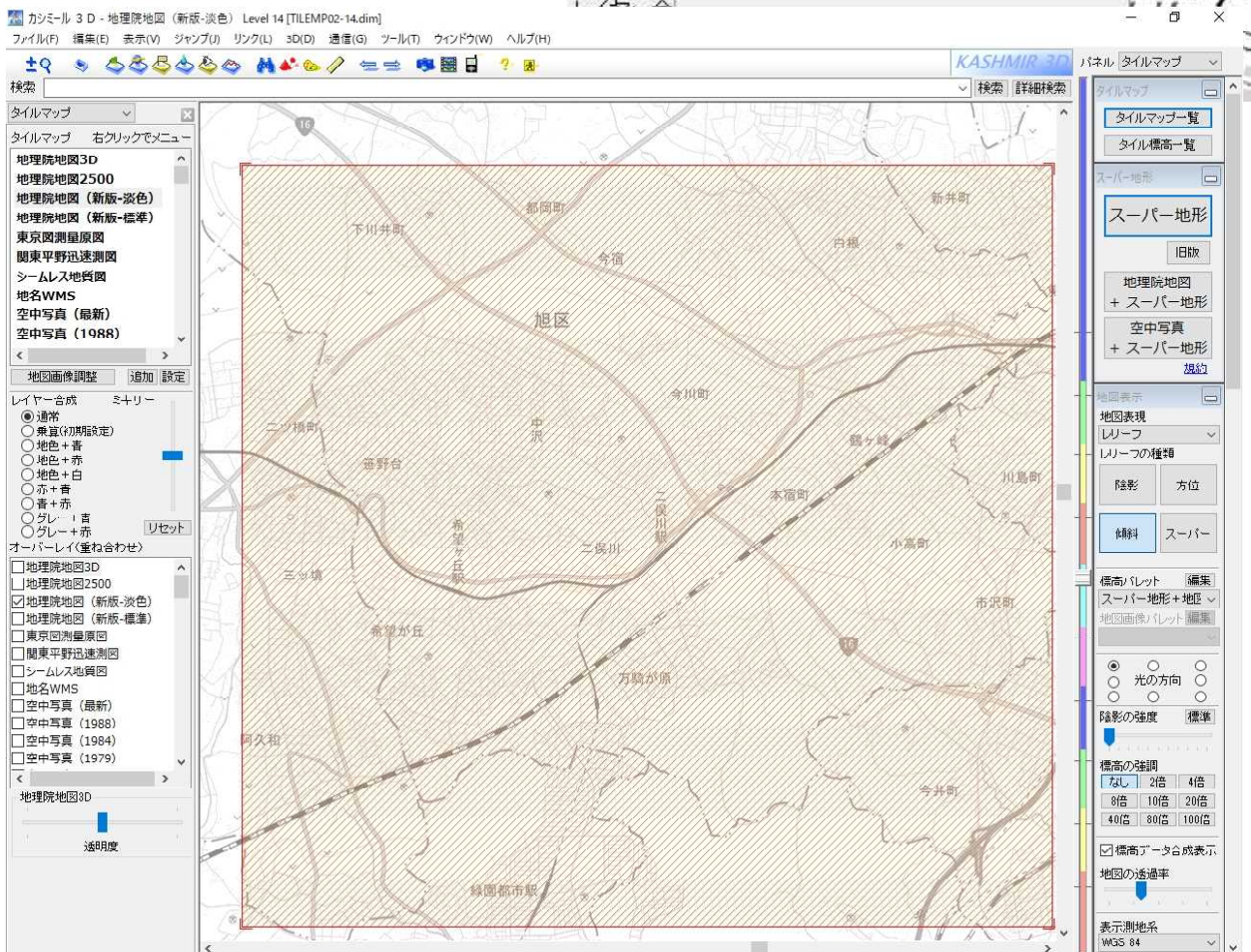


4. 表示されている画面より広い範囲の地図を作りたいときは、最初に「編集」－「範囲を決める」で描く範囲を決めておきます。そのためには「フリーズームバー」で縮尺を小さくしておくといでしょう。もちろん、そのまま縮尺は変えないで、ズルズルと範囲を広げていっても構いません。

選択範囲は斜線で示されます。

縮尺を小さくした場合、そのままでは小さい画像になるので、もう一度「フリーズームバー」で元の縮尺に戻します。

保存は、「選択範囲を保存」とすれば、この範囲の画像が得られます。



作成した画像をつなぎ合わせなくても一度で表示画面以上の範囲の画像を得ることができ「選択範囲を決める」は、カシミール3Dの優れた機能と思います。

是非ご活用ください。

※国土地理院の「基盤地図情報から白地図を作成する方法」

(<http://www.gsi.go.jp/common/000143308.pdf>) は「国土地理院の HP から学校や家のまわりの道路だけを示した地図を作成する方法です。小学校 3 年、4 年社会の地域学習の白地図として利用できます」。丁寧な説明がされており、使い勝手のよい白地図を作ることができます。

ただ、基盤地図情報のダウンロードは敷居が高いという声も聞きます。地理院地図にアクセスするだけで白地図ができる「カシミール3D」方式を簡便な方法としてお試しになってください（カシミール3Dのウェブサイト <http://www.kashmir3d.com/>）

■お問い合わせは 田代博 tashiro.fujisan@gmail.com まで